

発効日: 2020年3月31日

[旧版](#)

本規約に含まれる内容

Google は、こうした利用規約はできれば読みたくないというユーザーの心理を理解しています。しかし、ユーザーが [Google サービス](#) を利用するうえで期待できること、および Google がユーザーに期待することを、利用規約に明記することは重要です。

本利用規約には、[Google のビジネスの仕組み](#)、Google に適用される法律、および [Google が常に正しいと信じてきた事柄](#) が反映されています。結果として、本利用規約は、サービスを利用するユーザーと Google との関係を定義するのに役立っています。たとえば、本規約の見出しには以下のような内容が含まれています。

- [ユーザーが Google に期待できること](#)では、Google がサービスを提供および開発する仕組みについて説明します
- [Google がユーザーに期待すること](#)では、Google のサービスを利用する際のルールについて規定します
- [Google サービス内のコンテンツ](#)では、Google のサービス内で見つかるコンテンツの知的所有権について説明し、そのコンテンツがユーザー、Google、または他者のうち誰に帰属するのかが示します
- [問題または意見の相違がある場合](#)では、ユーザーのその他の法的権利と、誰かが本規約に違反した場合にどうなるかについて説明します

Google サービスを利用するには、本規約に同意する必要があります。そのため、本規約の内容を理解しておくことが重要です。

本規約に加えて、Google は[プライバシー ポリシー](#)も公開しています。プライバシー ポリシーは本規約とは独立した規定ですが、[ユーザーが自身の情報を更新、管理、書き出し、削除する方法](#)について理解を深めるためにもご一読されることをおすすめします。

サービス提供者

欧州経済領域（EEA）内およびスイス国内では、Google [サービス](#)の提供者は以下の法人となります。

Google Ireland Limited

アイルランドの法律に基づき設立され運営される法人（登録番号:368047）

Gordon House, Barrow Street

Dublin 4

Ireland

年齢に関する要件

ユーザーが自分で [Google アカウント](#)を管理するための年齢要件を満たしていない場合、Google アカウントを使用するには親または保護者の方の許可を得なければなりません。本規約を、親または保護者の方と一緒に読んでください。

本規約に同意した親または保護者の方がお子様に[サービス](#)の利用を許可する場合は、適用される法律によって許可される範囲で、その親または保護者の方がサービス利用時のお子様の行動に責任を負うことになります。

一部の Google サービスには追加の年齢要件が設けられており、それぞれの[サービス固有の追加規約およびポリシー](#)にその旨が記載されています。

ユーザーと Google の関係

本規約は、ユーザーと Google の関係を定義するためのものです。大まかに言うと、Google は本規約を遵守することに同意したユーザーに [Google のサービス](#)の利用を許可します。本規約には、[Google のビジネスの仕組みと収益を生み出す方法](#)が反映されています。「Google」とは、Google Ireland Limited およびその[関連会社](#)を意味します。

ユーザーが Google に期待できること

幅広い便利なサービスの提供

Google は、本規約の対象となる幅広いサービスを提供します。これには以下が含まれます。

- アプリやサイト（例: Google 検索、Google マップ）
- プラットフォーム（例: Google Play）
- 統合サービス（例: 他の企業のアプリやサイトに埋め込まれた Google マップ）
- デバイス（例: Google Home）

Google のサービスは相互に連携するように設計されており、ユーザーはあるアクティビティから別のアクティビティへと簡単に移動できます。たとえば、Google カレンダーに予定を追加しておくと、Google マップがリマインドしてくれます。

Google サービスの改善

Google では、厳格なサービス調査プログラムを継続的に実施しています。サービスを変更またはその提供を終了する際は、事前にその妥当性、ユーザーにとっての利害、ユーザーが当然抱く期待、ユーザーやその他のユーザーに対する潜在的な影響について、慎重に検討します。Google では、パフォーマンスやセキュリティの向上、法律の遵守、違法な活動や不正行為の回避、技術開発の反映、または特定の機能もしくはサービス全体の人気の低下や提供コストの上昇などの正当な理由がある場合に限り、サービスを変更またはその提供を停止します。

ユーザーの Google サービスの利用に悪影響を及ぼす重大な変更を行う場合、またはサービスの提供を終了する場合、Google はユーザーに対して合理的な事前の通知を行い、[Google データ エクスポート](#)を使用して Google アカウントから ユーザーのコンテンツ をエクスポートする機会を提供します。ただし、不正行為の防止、法的要件に対応する必要がある、またはセキュリティや運営上の問題に対処する必要があるなどの緊急時は除きます。

Google がユーザーに期待すること

本規約、およびサービス固有の追加規約の遵守

Google の [サービス](#) を利用するための許可は、ユーザーが以下に規定されたユーザーの責任を果たしている間は提供されます。

- **本規約**
- **サービス固有の追加規約**（追加の年齢要件など）

本規約は [PDF 形式](#) で表示、複製、保存できます。Google アカウントにログインすると、本規約およびすべての [サービス固有の追加規約](#) に同意できます。

また Google は、各種ポリシー、ヘルプセンター、およびその他のリソースを公開し、一般的な質問に答えるとともに、サービスの利用に関して Google とユーザーが相互に期待すべきことを規定しています。これらのリソースには、[プライバシー ポリシー](#)、[著作権ヘルプセンター](#)、[セーフティ センター](#)、および Google の [ポリシーサイト](#) からアクセスできるその他のページが含まれます。

Google は、Google サービスの利用をユーザーに許可しますが、サービス内で Google が所有するすべての [知的所有権](#) は Google が保持します。

他者の尊重

Google サービスの多くは、ユーザー同士でのやり取りができるものです。すべてのユーザーが互いを尊重し合う環境を維持するため、以下に挙げる行動についての基本ルールを遵守してください。

- 適用される法律（輸出管理、制裁措置、人身売買に関する法律を含む）を遵守する
- プライバシーに関する権利や知的所有権などの、他者の権利を尊重する
- 他者または自分自身に被害をもたらす行為（虚偽情報の提供、詐欺、名誉毀損、いじめ、嫌がらせ、ストーキングなど）や、こうした行為をほのめかす脅迫、またはこうした行為の助長を行わない
- サービスを不正利用または妨害したり、中断させたりしない

Google の [サービス固有の追加規約およびポリシー](#) は、そのサービスを利用するすべてのユーザーが遵守しなければならない適切な行動に関する追加情報を提供します。Google のサービスの多くでは、他のユーザーがこれらのルールに違反していることに気付いた場合に、[不正行為を報告](#) できるようになっています。Google が不正行為の報告に対処する場合は、[問題が発生した場合の措置](#) のセクションに沿って公正に手続きします。

ユーザーのコンテンツに対する使用許可

Google の一部のサービスは、ユーザーのコンテンツをユーザー自身がアップロード、保存、送信、受信、共有できるように設計されています。ユーザーは、Google サービスにコンテンツを提供する義務を負うものではなく、提供したいコンテンツを自由に選ぶことができます。コンテンツをアップロードまたは共有する場合は、そのために必要な権利を自分が有していること、およびそのコンテンツが合法であることをご確認ください。

ライセンス

ユーザーのコンテンツはユーザーに帰属します。つまり、コンテンツに含まれるユーザーの知的所有権はすべてユーザーが保持します。たとえば、ユーザーが書いたレビューなど、ユーザーが作成した独創的なコンテンツの知的所有権はユーザーが保持します。また、誰かが作成した独創的なコンテンツも、その人の許可があれば共有する権利を保持できる場合があります。

ユーザーの知的所有権により Google によるユーザーのコンテンツの使用が制限される場合、Google はユーザーから使用許可を得る必要があります。ユーザーは、このライセンスを通じて Google に使用許可を与えるものとします。

適用対象

このライセンスは、ユーザーのコンテンツが知的所有権によって保護されている場合は、そのコンテンツに適用されます。

適用対象外

- このライセンスは、ユーザーの知的所有権のみを対象としており、ユーザーのデータ保護の権利には影響しません。
- このライセンスは、以下の種類のコンテンツには適用されません。
 - ユーザーが提供する、一般に公開されている事実情報（ローカル ビジネスの住所の訂正など）。こうした情報は、誰でも無料で利用できる一般的な情報と見なされるため、ライセンスは必要ありません。

- ユーザーが提供するフィードバック（Google のサービスを改善するための提案など）。フィードバックについては、下記の[サービスに関連するコミュニケーション](#)のセクションで説明します。

範囲

このライセンスは以下の性質を備えています。

- 全世界的であり、世界のあらゆる場所において有効である
- 非独占的であり、ユーザーは自分のコンテンツのライセンスを他者に供与できる
- 無償であり、このライセンスの使用料は発生しない

権利

このライセンスにより、下記の[目的](#)のセクションに記載された限定的な目的のためのみ、Google に以下の行為を行うことが許可されます。

- ユーザーのコンテンツを技術的な目的でのみ使用すること（たとえば、コンテンツを Google のシステムに保存してユーザーがどこからでもアクセスできるようにしたり、Google のサービスとの互換性のためコンテンツの形式を変更したりできる）
- ユーザーのコンテンツが他の人に公開するように設定されている場合は、その範囲内においてそれを公開すること
- これらの権利を以下に再許諾すること
 - 他のユーザー（ユーザーが選択した人々と写真を共有できるようにするなど、サービスを設計どおりに機能させられるようにするため）
 - Google との間で本規約と矛盾しない契約を締結した請負業者（以下の[目的](#)のセクションに記載されている限定的な目的のみが対象）

目的

このライセンスは、サービスを運営することのみを目的としています。つまり、サービスを設計どおりに機能させ、新しい機能や機能性を作成することを可能にするためにのみ適用されます。これには、自動化されたシステムやアルゴリズムを使用してユーザーのコンテンツを分析することも含まれます。

- スпам、不正なソフトウェア、および違法なコンテンツを検出するため
- データのパターンを認識するため（たとえば、関連する写真をまとめることを目的に、Google フォトで新しいアルバムを提案するタイミングを判断するため）
- おすすめ情報を表示する、カスタマイズした検索結果やコンテンツ、広告などを表示するといった目的で、Google のサービスを個々のユーザーに合わせてカスタマイズするため（広告のカスタマイズについては、[広告設定](#)で変更またはオフにできます）

この分析はコンテンツが送信、受信、および保存されたときに発生します。

期間

このライセンスは、ユーザーのコンテンツが知的所有権によって保護されている限り続きます。ただし、ユーザーがそのコンテンツを Google のサービスから削除した場合、ライセンスは終了します。

このライセンスが適用されるコンテンツをユーザーが Google のサービスから削除した場合、Google のシステムは合理的な期間内にそのコンテンツの公開を停止することとします。ただし、次の 2 つの例外があります。

- ユーザーのコンテンツが削除される前に、ユーザーがそのコンテンツをすでに共有していた場合。たとえば、ユーザーが写真を共有した友人がそのコピーを作成して再度共有した場合、その写真は、ユーザーが自分の Google アカウントから削除した後も、友人の Google アカウントに引き続き表示される可能性があります。
- ユーザーのコンテンツが他の企業のサービスを通じて公開されている場合、Google 検索などの検索エンジンによって、引き続きユーザーのコンテンツが検索結果の一部として検出および表示される可能性があります。

Google サービスの使用

ユーザーの Google アカウント

これらの年齢要件を満たしている場合は、[Google アカウント](#)を作成して利便性を高めることができます。一部のサービスを機能させるためには、[Google アカウント](#)が必要になります。たとえば Gmail を使用するには、メールを送受信する場所を確保するために [Google アカウント](#)が必要となります。

ユーザーは、[Google アカウント](#)で行うことに責任を負います。これには、[Google アカウント](#)を安全に維持するために合理的な措置を講じることも含まれるため、定期的に[セキュリティ診断](#)を使用することをおすすめします。

組織またはビジネスの代理として Google サービスを使用する

企業、非営利団体、学校などの多くの組織が、[Google のサービス](#)を活用しています。特定の組織の代理として [Google のサービス](#)を使用する場合:

- 当該組織の正式に権限を有する代表者が本規約に同意する必要があります。
- 組織の管理者が、組織内のユーザーに [Google アカウント](#)を割り当てることがあります。管理者はユーザーに対し、追加のルールに従うよう求める場合があります。また、管理者がユーザーの [Google アカウント](#)にアクセスしたり、そのアカウントを無効にしたりすることもあります。

ユーザーが欧州連合を拠点としている場合、[EU Platform-to-Business Regulation](#) の下でユーザーがオンライン仲介サービス（[Google Play](#) などのオンライン プラットフォームを含む）の[ビジネスユーザー](#)として有する権利に対し、本規約が影響を及ぼすことはありません。

サービスに関連するコミュニケーション

Google はサービスを提供する目的で、サービスに関するお知らせや、サービスに関連するその他の情報をユーザーに送信することがあります。Google からユーザーへの連絡の方法については詳しくは、[Google のプライバシー ポリシー](#)をご覧ください。

ユーザーから Google にフィードバック（[Google サービス](#)を向上させるための提案など）が提供された場合、Google は、ユーザーに対する義務を負うことなく、そのフィードバックを利用することができます。

Google サービス内のコンテンツ

ユーザーのコンテンツ

Google の一部のサービスは、ユーザーのコンテンツを一般に公開する機会を提供します。たとえば、製品やレストランのレビューを書いて投稿したり、ブログの投稿を作成してアップロードしたりできます。

- [ユーザーのコンテンツ](#)におけるユーザーの権利について、また Google サービス内でユーザーのコンテンツがどのように使用されるかについて詳しくは、[ユーザーのコンテンツに対する使用許可](#)をご覧ください。
- Google が Google のサービスからユーザー作成コンテンツを削除する場合の理由およびその方法については、[コンテンツの削除](#)のセクションをご覧ください

ご自身の知的所有権が侵害されていると考える場合は、[侵害に関する通知を Google に送信](#)できます。Google では、通知に対し適切な対応をとります。たとえば、[著作権ヘルプセンター](#)で説明されているように、何度も[著作権侵害](#)をしているユーザーについては、その Google アカウントを停止または閉鎖します。

Google のコンテンツ

Google のサービスの一部には、Google に帰属するコンテンツが含まれています。たとえば、Google マップに表示される多くのイラストは Google に帰属します。ユーザーは Google のコンテンツを本規約および[サービス固有の追加規約](#)で許可される範囲内で使用できますが、コンテンツに対して Google が所有するすべての知的所有権は Google が保持します。いかなるブランド表示、ロゴ、法的通知も、削除したり、隠したり、改ざんしたりしてはなりません。Google のブランド表示やロゴを使用したい場合は、[Google Brand Permissions](#)（Google ブランドの使用許諾について）のページをご覧ください。

その他のコンテンツ

最後に、Google サービスの中には、他の個人または組織に帰属するコンテンツ（店舗オーナーによるその事業の説明、Google ニュースに表示される新聞記事など）にアクセスできるものがあります。ユーザーは、法律により許可されている場合を除き、当該個人または組織の許可なくこのコ

コンテンツを使用することはできません。他の個人または組織のコンテンツで表明されている見解はその個人または組織のものであり、必ずしも Google の見解を反映するものではありません。

Google サービス内のソフトウェア

Google のサービスによっては、ダウンロード可能なソフトウェアが含まれている場合があります。Google は、そのサービスの一部として当該ソフトウェアを使用することをユーザーに許可します。

Google がユーザーに与えるライセンスは以下の性質を備えています。

- 全世界的であり、世界のあらゆる場所において有効である
- 非独占的であり、ユーザーは自分のコンテンツのライセンスを他者に供与できる
- 無償であり、このライセンスの使用料は発生しない
- 個人的であり、他者に影響が及ぶことはない
- 譲渡不可であり、他者にライセンスを譲渡することはできない

Google の一部のサービスには、オープンソース ライセンス規定に基づいてユーザーに提供しているソフトウェアが含まれています。オープンソース ライセンスには、本規約の一部を明示的に上書きする条件が規定されている場合があるため、必ずそれらのライセンスを確認してください。

ユーザーは、Google のサービスまたはソフトウェアのいかなる部分も、複製、変更、配信、販売、貸与することはできません。また、Google のソースコードのリバース エンジニアリングや抽出を試みることはできません。ただし、ユーザーが Google から書面による許可を得た場合、または適用される法律によりこうした行為が許可されている場合は、この限りではありません。

サービスがダウンロード可能なソフトウェアを必要とする、または含んでいる場合、新バージョンまたは新機能が入手可能になると、そのソフトウェアはユーザーのデバイス上で自動的に更新されることがあります。一部のサービスでは、ユーザーが自動更新の設定を調整できます。

問題または意見の相違がある場合

法律により、ユーザーは (1) 一定のサービス品質、および (2) 正常に機能しない場合に問題を解決する方法について権利を有します。本規約がそれらの権利を制限または剥奪することは一切ありません。たとえば、ユーザーが消費者である場合は、適用される法律に基づき消費者に付与されているすべての法的権利をユーザーが引き続き保持します。

免責

Google が、Google のサービス (サービス内のコンテンツ、サービスの特定の機能、その信頼性、利用可能性、またはユーザーのニーズに応える能力を含む) について約束するのは、(1) サービス固有の追加規約に記述されている内容、または (2) 適用される法律のもとで提供されている内容のみです。その他には、Google のサービスについていかなる約束もしません。

法的責任

対象者: すべてのユーザー

本規約は、適用される法律によって許可されている限りにおいて Google の責任を制限します。たとえば、死亡または人身傷害、不正行為、詐欺的な不実表示、重過失、または意図的な違法行為について、本規約が Google の法的責任を制限することはありません。また、本規約が、製造物責任法に基づくユーザーの権利を制限することはありません。

Google、その代表者または代理人の軽過失により生じた物的損害または金銭的損失について、Google は、基本的な契約上の義務の不履行が、契約締結時に予測可能な典型的損害を招いた場合に限り、その責任を負うものとします。基本的な契約上の義務とは、契約履行の前提条件として果たされる必要があり、それが遂行されることを当事者が信頼できる義務を言います。これにより、損害に対する立証責任に対し、ユーザーの不利益をきたすような変更が生じるわけではありません。

対象者: ビジネス ユーザーおよび組織のみ

ユーザーが ビジネス ユーザー または 組織 の場合は、適用される法律によって許可される範囲で、ユーザー自身によるサービスの不正利用、または本規約もしくは サービス固有の追加規約 への違反に起因または関連する第三者によるあらゆる法的手続き (政府機関による法的措置を含む) について、Google、およびその取締役、役員、従業員、請負業者を 補償 するものとします。この補償は、請求申し立て、損失、損害、裁判、罰金、訴訟費用、弁護士費用を含め、あらゆる法的責任または費用が対象となります。ユーザーが特定の責任 (たとえば補償) を法的に免除される場合、本

規約に基づくそれらの責任は適用されません。たとえば、国連は一定範囲で法的義務が免除されており、本規約がそれらの免除に優先することはありません。

問題が発生した場合の措置

Google は、下記の措置を講じる前に、ユーザーに対して合理的に可能な限り事前の通知を行い、措置を講じる理由を説明し、問題を修正する機会をユーザーに提供するものとします。ただし、そうすることが以下の事態につながると考えられる客観的かつ具体的な理由が存在する場合を除きます。

- ユーザー、第三者、または Google に損害または法的責任が及ぶ
- 法律または法執行機関の命令に違反する
- 調査に支障をきたす
- Google のサービスの運用、完全性、セキュリティに支障をきたす

ユーザーコンテンツの削除

Google は、ユーザーのコンテンツが (1) 本規約、サービス固有の追加規約またはポリシーに違反している、(2) 適用される法律に違反している、または (3) Google のユーザー、第三者、または Google に損害を与える可能性があると確信するに足る客観的かつ具体的な理由がある場合、適用される法律に従って、当該コンテンツの一部または全部を削除する権限を有します。例としては、児童ポルノ、人身売買または嫌がらせを助長するコンテンツ、および他者の知的所有権を侵害するコンテンツなどが挙げられます。

ユーザーによる Google サービスへのアクセスの一時停止または停止

Google は、次のいずれかに該当する場合、ユーザーによるサービスへのアクセスを一時停止もしくは停止する権利、またはユーザーの Google アカウントを削除する権限を有します。

- ユーザーが本規約、サービス固有の追加規約またはポリシーに著しくまたは繰り返し違反した場合
- 法的要件または裁判所命令に従ってGoogleがそうした対応をとる必要がある場合
- ユーザーの行動（ハッキング、フィッシング、嫌がらせ、スパム行為、虚偽情報の提供、他のユーザーに帰属するコンテンツの無断複製など）が、特定のユーザー、第三者、もしくはは

Google に損害を与えた、または法的責任を発生させたと確信できる客観的かつ具体的な理由が存在する場合

ユーザーは自身の Google アカウントが誤って停止または終了されたと考える場合に異議を申し立てることができます。

もちろん、ユーザーはいつでも自由に Google サービスの使用を停止できます。サービスの利用を停止する場合は、ぜひその理由をお聞かせください。今後のサービス向上に役立てさせていただきます。

ユーザーデータに関するリクエストの処理

Google は、ユーザーデータのプライバシーとセキュリティの尊重を前提として、データ開示リクエストに対応しています。データ開示リクエストを受け取ると、そのリクエストが法的要件および Google のデータ開示ポリシーを満たしているかどうかを担当チームが検証します。データ（通信についての情報を含む）へのアクセスおよびデータの開示は、アイルランドの法律およびアイルランド国内で適用される EU の法令に従って、Google Ireland Limited が行います。Google が世界各地で受け取るデータ開示リクエストについて、およびそれらのリクエストに対する Google の対応について詳しくは、[透明性レポート](#)および[プライバシー ポリシー](#)をご覧ください。

紛争の解決、準拠法、および管轄裁判所

Google との連絡方法に関する情報については[お問い合わせページ](#)をご覧ください。

ユーザーが欧州経済領域（EEA）もしくはスイスに居住する個人、または EEA もしくはスイスに拠点を置く組織である場合は、本規約、および本規約とサービス固有の追加規約の下での Google との関係はユーザーの居住国または拠点国の法律に準拠するものとし、法的な紛争は現地の裁判所に申し立てることができます。

ユーザーが EEA 内に居住する消費者である場合は、欧州委員会のオンライン紛争解決プラットフォームを使用してオンライン購入に関わる紛争を申し立てることもできます。法律上の義務がある場合、Google はこれを受け入れます。

本規約について

法律により、ユーザーは、本利用規約のような契約では制限できない一定の権利を有しています。本規約は、そうした権利を制限することを意図するものではありません。

本規約をわかりやすく説明するために、Google の [サービス](#) を例として使用しています。ただし、ユーザーが居住する国において、例示されているすべてのサービスが利用できるとは限りません。

Google は、次の場合に本規約および [サービス固有の追加規約](#) を更新することがあります。(1) Google サービスの変更、または Google の業務上の変更（たとえば Google がサービス、機能、技術、価格、特典などを新しく追加、もしくは従来のもを削除した場合）を反映するため。(2) 法律、規制、またはセキュリティ上の理由のため。(3) 不正または危険な行為を防ぐため。

本規約または [サービス固有の追加規約](#) に変更を加える場合は、変更発効日の少なくとも 15 日前に、ユーザーに対し事前の通知を行います。Google はユーザーに通知する際、変更後の当該規約を提供し、重要な変更について知らせます。変更が有効になる前に異議を申し立てなかった場合、ユーザーは変更後の当該規約に同意したものと見なされます。この異議申し立ての手順は、Google からの通知に記載されます。ユーザーは変更への同意を拒否することができます。その場合、当該変更がユーザーに適用されることはありませんが、Google は、その他すべての停止条件が満たされる場合にはユーザーとの関係を終了させる権限を有します。ユーザーも、Google アカウントを閉鎖することにより、いつでも Google との関係を終了させることができます。

定義

EU Platform-to-Business Regulation

オンライン仲介サービスのビジネス ユーザーのために公平性と透明性を促進するための EU 規則 (2019/1150)。

サービス

本規約の対象となる Google サービスとは、こちらの <https://policies.google.com/terms/service-specific> に記載されている、以下を含むプロダクトおよびサービスを指します。

- Google のアプリおよびサイト (Google 検索、Google マップなど)
- プラットフォーム (Google Play など)
- 統合サービス (他の企業のアプリやサイトに埋め込まれた Google マップなど)

- デバイス（Google Home など）

ビジネス ユーザー

消費者ではない個人または法人（「消費者」を参照してください）。

ユーザーのコンテンツ

ユーザーが Google のサービスを使用して記述、アップロード、提出、保存、送信、受信、または Google と共有したものの。

- ユーザーが作成するドキュメント、スプレッドシート、スライド
- ユーザーが Blogger からアップロードするブログ投稿
- ユーザーが Google マップで投稿するクチコミ
- ユーザーが Google ドライブに保存する動画
- ユーザーが Gmail を通じて送受信したメール
- ユーザーが Google フォトで友人と共有する写真
- ユーザーが Google で共有する旅行プラン

関連会社

Google の企業グループに所属する法人。つまり、Google LLC とその子会社を意味し、EU でカスタマー サービスを提供する Google Ireland Limited、Google Commerce Ltd、および Google Dialer Inc. も含まれます。

商標

商業目的で使用され、特定の個人または組織の商品やサービスを他者のものと区別できるようにするためのマーク、名称、画像。

消費者

非営利（取引、ビジネス、専門的職業での利用ではない）目的で個人的に Google サービスを使用する個人。 [EU Consumer Rights Directive（EU 消費者権利指令）](#) の第 2.1 条に定義されている「消費者」を含みます。（ビジネス ユーザーを参照）

組織

企業、非営利団体、学校などの法人。個人は含まれません。

知的所有権

人間の知的創作物に対する権利。たとえば、発明（特許権）、文芸作品や芸術作品（著作権）、デザイン（意匠権）、商業目的で使用されるマーク、名称、画像（商標権）など。知的所有権の帰属先は、ユーザー自身、第三者の個人または組織である場合があります。

著作権

著作物（ブログ投稿、写真、動画など）の使用を他者に許可するかどうか、およびその使用方法を、著作物の作成者が決めることができる法的な権利。

補償

個人または組織が、訴訟などの法的手続きにより他方の個人または組織が被った損失を賠償する契約上の義務。

免責条項

特定の人物の法的責任を制限する声明。